

令和4年3月23日
学長選考会議

国立大学法人鳴門教育大学学長の業績評価結果

学長選考会議は、国立大学法人鳴門教育大学学長の業績評価結果に関する申合せ（平成28年9月29日学長選考会議決定）に基づき、令和3年度の山下一夫学長の業績評価を実施しましたので、その結果を公表します。

1 評価の実施方法

学長の業績評価は、国の国立大学法人評価委員会による評価結果や経営協議会、大学評議会等における実績等に加え、学長によるプレゼンテーションと、学長と各委員との質疑応答による対話を経て、その業績評価結果の取りまとめ審議を行い、今回の評価を決定しました。

2 評価の実施

(1) 学長に対するヒアリング実施日時

令和4年1月27日（木） 15時55分～16時25分

(2) 学長のプレゼンテーション

学長のプレゼンテーションの概要は、次のとおり

①教職員の意識改革

- 教師教育のリーダー大学について
- チームワークについて

②学外機関との連携・協力

- 四国5大学連携について
- 文部科学省について
- 国立大学協会について

③課題

- 大学院学校教育研究科における定員確保について
- トップダウンとボトムアップの最適化について

(3) 学長選考会議委員から、学長就任後の業務等について、主に以下の観点から質疑応答がありました。

- ・学長職の6年について
- ・四国5大学連携の今後の展望について

3 業績評価結果

学長のプレゼンテーション及び各委員との質疑応答を踏まえ、学長のリーダーシップ発揮状況、学長のビジョンや方向性の浸透及び第3期中期目標期間における令和3年12月までの取組・進捗状況等を総合的に検討した結果、学長の業務遂行は順調かつ着実に執行されていることを確認しました。

山下学長は、令和4年3月末をもって惜しまれつつ学長職を勇退されることとなりますが、財政事情等大学を取り巻く諸情勢が厳しい中であって、ご在任中のご奮闘ぶりには目を見張るものがあり、学長選考会議の総意として、敬服するとともに深く感謝の念が表明されました。今後ともご健勝で別の立場から鳴門教育大学の一層の発展のためにご指導いただくことの期待も表明されました。